

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 102-8081
 住 所 東京都千代田区九段南1-1-10 九段合同庁舎
 氏 名 国家公務員共済組合連合会 印
 理 事 長 尾 原 榮 夫
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	国家公務員共済組合連合会		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	85	社会保険・社会福祉・介護事業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,766	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名	総務部総務課、管財・営繕部営繕課
		所 在 地	東京都千代田区九段南1-1-10 九段合同庁舎
		電話番号	03-3222-1841
		F A X 番号	03-3222-3710
		メールアドレス	soumuka@kkr.or.jp、eizen@kkr.or.jp
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成23 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	無し
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名 (法人にあっては、その代表者) を記載し、押印することに代えて、本人 (法人にあっては、その代表者) が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,267 t-CO ₂ (調) 2,966	(実) 3,465 t-CO ₂ (調) 3,135	(実) 3,194 t-CO ₂ (調) 2,901	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) 3,258 t-CO ₂ (調) 0
削減率		(実) -6.1 % (調) -5.7	(実) 2.2 % (調) 2.2	(実) % (調) %	(実) 0.3 % (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値		0			
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	白熱球の蛍光灯化により年間約3.5 t-co2/年、換気設備の見直しにより年間約1.3 t-co2/年の削減を行った。夏季の猛暑により空調用ポンプの稼働台数、稼働時間の増加、PAC、フリーザー等の負荷増大のため、基準年度と比較し昼間買電の使用量が約13%増加した。そのためCO2の排出量は基準年と比較し6%増加した。
第2年度	照明の人感センサー化により年間約1.3 t-co2/年、換気設備制御変更により年間約0.16 t-co2/年、高効率エアコンへの更新により年間約1.9 t-co2/年、業務用製氷機の更新により年間約0.4 t-co2/年の削減を行った。検査機器の新規導入、新規エアコンの導入等により年間約2.9 t-co2/年の増加となった。また震災後の省エネ意識の高まりにより昼間買電の使用量が19%削減した。そのためCO2の排出量は基準年度より2.2%削減となった。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	○蒸気の管理 ○空気調和の管理 ○照明設備の管理 ○発電設備の管理 ○体制の整備
	第1年度	別添のとおり
	第2年度	別添のとおり
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

○蒸気の管理

スチームトラップの管理標準を作成し、年2回全数点検を行った。

○空気調和の管理

- ・流量固定ポンプとインバーター付きポンプを並列に運転を行い、必要最低限の流量で運転を行うことによりロスが少ない運転を行った。
- ・外気暖房、外気冷房の適切化を行い、冷暖房によるエネルギーの消費を少なくした。
- ・空調機のウォーミングアップ時間を季節ごとに設定を行った。
- ・中間期の外気冷房、外気暖房を行う。また風量の低下を防ぐため吸気口の清掃を年2回行った。
- ・コージェネレーションの排熱を排熱利用の吸収式冷凍機へ適量送るようにし無駄の無い運転を行った。
- ・換気の管理標準の作成
電気室の換気設備の取り扱いについての管理標準を作成し、エネルギーの使用が少ない空調運転を行った。

○照明設備の管理

- ・白熱球をLED化、蛍光灯化を行った。
- ・昼光の利用を積極的に行った。

○発電設備の管理

- ・コージェネレーションの排熱が1台分余剰に発生する場合はコージェネレーションを1台停止し、排熱を余らすことなく使うことにより効率的な運用を行った。

○体制の整備

- ・ガス、電気の使用量のグラフ化及び分析を行った。
- ・温室効果ガス削減に向けた体制を整えた

平成23年度 温室効果ガスの排出量の削減のための措置の実施状況

○蒸気の管理

スチームトラップの点検を行い、不良個所の交換を行った。

○空気調和の管理

- ・0.4k wの排気ファンを室温による動作制御へと変更した。
- ・合計1.6k wの照明を人感センサーによる制御への変更を行った。
- ・旧式のエアコンを高効率機器への更新を行い5.5k w hの効率化を図った。
- ・ロールカーテンの取り付け計4箇所行い断熱性を高めた。
- ・空調機の停止を行い

○業務用機器の管理

氷嚢用製氷機をアイスノン用冷凍庫へ買い替え2.7k w hの効率化を図った。

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地内の木々の維持管理を行う。 ・ 廃棄物の分別化の推進を図る。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地内の木々の維持管理 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・ 廃棄物の分別化の推進 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。 廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い 廃棄物の種類により分別を行った。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地内の木々の維持管理 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・ 廃棄物の分別化の推進 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。 廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い 廃棄物の種類により分別を行った。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,048	t-CO ₂
(調)	3,044	

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
虎の門病院分院	高津区梶ヶ谷1-3-1	8311	一般病院	3,048 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k _l 未満	
300～400k _l 未満	
200～300k _l 未満	
100～200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--